

宇美町

エコ

(2020年広報1月号)



宇美町にお住いの皆さん新年あけましておめでとうございます。元号が変わって初めてのお正月をいかがお過ごしでしたか？間もなく1年で最も寒い時期を迎えますが、水回りの保温をはじめとした備えはもうお済みですか？今回は、自然災害についてのお話です。

世界気象機関(WMO)は昨年12月3日に「2019年の1月から10月までの平均気温が、産業革命前から1.1℃上昇しており、この記録は2016年に次いで過去2番目か3番目に高い年になる」と発表しました。日本の気象庁でも台風15号や19号の自然災害は『地球温暖化の影響である』と初めて公式見解として発表しています。ヨーロッパでは6月と7月に熱波に見舞われ、中でもフランスでは国内観測史上最高となる46℃を記録したほか、ドイツやオランダ、イギリスでも過去最高の気温が更新されています。東南アジアなどの南西太平洋の広い地域でも深刻な干ばつが発生していることが報告されています。

昨年12月にスペインで開催された「国連気候変動枠組条約第25回締結国会議(COP25)」では、WMOのターラス事務局長が「100年に1度と言われていたような熱波や洪水が当た」

り前になっている」と指摘しています。また、その会議で、各国の温室効果ガス削減目標の更なる引き上げが議論されている中、ドイツのシンクタンクからは「気象災害の影響が大きかった国」のランキングが発表され、金額ベースではありますが、一昨年は36位だった日本が、調査対象となった181か国中1位と発表しました。

COP25の開催会場周辺では、地球温暖化対策に消極的な国に対する国際環境NGO(環境保護の分野で活動する民間非営利の組織・団体)の抗議活動が活発に行われていて、日本はブラジルやオーストラリアとともに「恥を知れ」の意味合いを持つ「化石賞」という不名誉な賞が与えられました。23年前の「京都議定書」の発表からの取組に「口ばかり」と他国から痛烈な批判を浴びています。

分母が1億2千人であろうと70億人であろうと、私たちは分子の1であることを忘れてはならないと思います。「一人ひとりには微力であっても決して無力ではない！」ことをいつも意識しておかなければならないと思います。

文責 福岡県地球温暖化防止活動

推進員 竹吉 栄隆